

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑キッズ東松山		
○保護者評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訓練室が広く、身体を動かす活動や支援も行き届きやすい。	道具を使った身体を動かす活動を積極的に取り入れている。	固定化されないように、5領域を意識した活動をしていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	食育活動がなかなか行えない。	時間が決まっているため、なかなか調理を行う時間の確保が難しい。	簡単な食育活動が出来るように工夫して活動を考えていく。
2			
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	縁キッズ東松山		公表日		2025年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	広々とした訓練室での活動を工夫して過しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	人員配置は気を配りながら支援をしています。	支援が行き届くように配置を考えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	段差はなく支援がしやすい環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	物の配置をわかりやすく配置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	7		支援する部屋は広いが、個別の部屋が確保できないため、環境設定が難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	ミーティングや朝礼などで目標設定を行い、適宜振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		評価表をもとに今後も改善に向けて職員間で共有し繋げていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	ミーティングで職員間の意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7		外部評価のやり方を知る機会が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	ミーティングで施設内研修を行い、本社研修も毎月1回行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	職員間で共有し、ホームページにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		支援会議の回数を増やしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	支援会議で共有する機会を設けている。	今後も支援会議が多く取れるように工夫していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	個々で日案を作成し、共有しながら行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	支援プログラムをもとに5領域を意識した活動を実施している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	日々の子どもの状況を見ながら無理のない支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	申し送りにて情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	終了後には出来ないため、翌日に行い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	専門的支援記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	教育機関は連携出来ている。	主治医との連携は難しい課題である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	担当者会議を行い、共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	担当者会議を行い、共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	7		今後、機会があれば参加していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		交流の機会があれば参加していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	2	送迎時に連絡帳やメールや電話を通して共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		今後、研修などに積極的に参加していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時にお伝えし、その都度、説明が出来るようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2	保護者面談を行う機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	1	お忙しい保護者様には、送迎時にご説明をしている。	面談などでゆっくり説明できる時間の確保を取ってきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	送迎時や保護者面談などで行っている。	濃談などでゆっくり相談できる時間の確保をとってきたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		今後は保護者会の機会を設けていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2	毎月のお便りやブログなどで活動の様子をお伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	キャビネットの保管し、鍵をかけています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ジェスチャーなどを使い、伝え方に配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		行っていないので、今後は機会を作れるようにしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		保護者会などで周知する機会を設けていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		職員間で周知し、訓練をするようにしていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	保護者様より、連絡帳や電話などでお伝えしていただいている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	保護者様より契約時やその都度、アレルギーの有無、検査結果の知らせをお伝えいただき、コピーして保管している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	施設内研修を行い、職員で周知し、その都度危険な箇所の確認をしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	お出掛けを数える際には事前にお伝えしたり、送迎時にお伝えしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	ミーティングにて職員で共有し、再発防止策を検討し、危険な箇所の確認をしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	施設内研修を行っている。	外部研修も機会があれば参加していきたい。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	支援計画書に記載している。		